

水産無償資金協力（ドミニカ国）
水産関連機材整備計画供与式の開催

2016年11月14日
在トリニダード・トバゴ日本国大使館
経済・開発協力班

14日、無償資金協力「水産関連機材整備計画」により整備された資機材の供与式典が、ドミニカ国にて開催されました。これは、バセテール及びオールロードに所在する過去に日本の無償資金協力によって整備された水産施設の機能向上を図るため、新たな冷凍機器等の資機材を供与するとともに、中層浮魚礁の導入により、同国の漁業を支援し、経済開発を支援することを目的として、1億6千6百万円の無償資金が供与されたものです。

同式典には、先方からは、ダグラス首相代行、ドリゴ農業・漁業大臣、ギステ農業・漁業省次官、セバスチャン水産局長が、我が方から岡田大使、池 JICA セントルシア事務所長ほか、先方政府関係者などが出席しました。

挨拶の中で岡田大使は、日本は無償資金協力に加えて水産分野の技術協力やトレーニングを組み合わせて同国の持続的漁業を支援しており、今回供与した機材が同国の水産部門の発展に寄与することを期待している旨述べました。

ダグラス首相代行は、同国の水産部門の発展は資金協力だけでなく技術移転も含んだ日本の援助のおかげであり、以前は、漁業は貧しい職業であったが、現在では高給を取る漁業者も出てきていると述べました。さらに同首相代行は、今回、日本から供与された資機材を長期にわたり使用し、漁業の発展に努めていきたい旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でドミニカ国に対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp